

令和7年度伊勢崎市市民意識調査

より良い市政運営を目指し、市民意識調査を実施します。伊勢崎市の取組に対する満足度やもっと力を入れてほしいことなど、皆さまのご意見を、ぜひお聞かせください。

なお、調査結果は市ホームページなどで公表いたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年6月

伊勢崎市長 臂 泰雄

令和7年 **7月11日まで** にご回答ください。
回答時間の目安：15分

インターネットでの回答が便利です



◀左の2次元コードをスマートフォン等で読み取ってアクセスしてください。

〈アンケート専用ページURL〉

<https://logoform.jp/form/Gpfu/1059909>

紙の調査票で回答する場合

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

令和7年7月11日（金）
消印有効



期日までにアンケートに回答していただいた方に、

200円分のISECAポイント
をプレゼントします。

※詳細は別紙「ISECAポイントの申請方法」をご覧ください。

《本アンケートについて》

- この調査は、18歳以上の市民の皆様から無作為に選んだ2,000人の方々にご協力をお願いしています。
- 封筒のあて名がご本人がご回答ください。ご本人による回答用紙への記入が困難な場合は、ご家族の方などにご協力いただき、ご記入くださいますようお願いいたします。
- ご回答いただいた内容は、個人が特定できないよう、全て統計的に処理します。

〈お問合せ先〉
伊勢崎市役所企画部企画調整課

TEL：24-5111（直通：27-2707） FAX：23-9800
E-mail：kikaku@city.isesaki.lg.jp

■あなたご自身についておたずねします。

(1) あなたの性別は。

〈○は1つ〉

1. 男性

2. 女性

3. その他

(2) あなたの年齢は。

〈○は1つ〉

1. 18～29歳

2. 30歳代

3. 40歳代

4. 50歳代

5. 60歳代

6. 70歳以上

(3) あなたの職業は。

〈○は1つ〉

1. 会社員・公務員・団体職員

2. 自営業

3. 主婦・主夫

4. 学生

5. パートタイマー・アルバイト

6. 無職

7. その他（ ）

(4) 伊勢崎市での通算居住年数は。(合併前の市町村を含む)

〈○は1つ〉

1. 5年未満

2. 5年～9年

3. 10年～19年

4. 20年以上

(5) 一緒に住んでいる家族は。

〈あてはまるものすべてに○〉

1. 配偶者

2. 子ども

3. 孫

4. 自身または配偶者の親

5. 一人暮らし

6. その他（ ）

(6) あなたの居住形態は。

〈○は1つ〉

1. 持ち家（一戸建て・マンション）

2. 借家

3. 会社の寮や社宅

4. その他（ ）

■定住意向についておたずねします。

(7) 現在のお住まいの直前に住んでいたところはどちらですか。

〈〇は1つ〉

- | | | | |
|--------------------|-----------|------------|-------|
| 1. 生まれてからずっと現在の住まい | 2. 市内の別住所 | 3. 県内の他市町村 | 4. 県外 |
|--------------------|-----------|------------|-------|

(8) 伊勢崎市をお住まいとして選んだ理由は何ですか。

〈あてはまるものすべてに〇〉

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 生まれ育った場所だから | 2. 自分や家族の持家があるから |
| 3. 家賃や住宅の価格が手ごろだから | 4. 親や子、親族、友人などがいるから |
| 5. 通勤・通学に便利だから | 6. 買い物、医療などの生活環境が整っているから |
| 7. 子育ての環境が整っているから | 8. 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから |
| 9. 街ににぎわいや活気があるから | 10. 街並みや景観がよいから |
| 11. 自然が身近にあるから | 12. 街のイメージがよいから |
| 13. 長年住んでいて愛着があるから | 14. 伊勢崎市が好きだから |
| 15. 特に理由はない | |
| 16. その他 () | |

(9) これからもずっと今のお住まいに住み続けますか。

〈〇は1つ〉

- | | | |
|--------------|-------------|-----------------------|
| 1. ずっと住んでいたい | 2. 当分住んでいたい | 3. どちらともいえない |
| 4. できれば移りたい | 5. 移りたい | 6. 移るかもしれないがいずれ戻ってきたい |

(10) 現実の問題は別として、もし転居するとしたら、伊勢崎市内、伊勢崎市以外のいずれを希望されますか。

〈〇は1つ〉

- | | | |
|----------|-----------------|---------------|
| 1. 伊勢崎市内 | 2. 伊勢崎市以外（群馬県内） | |
| 3. 群馬県以外 | 4. 現在の住まいがいい | 5. 具体的にはわからない |

(11) (10) で選んだ転居先を希望するのは、どのような理由からですか。

〈あてはまるものすべてに〇〉

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 生まれ育った場所だから | 2. 自分や家族の持家があるから |
| 3. 家賃や住宅の価格が手ごろだから | 4. 親や子、親族、友人などがいるから |
| 5. 通勤・通学に便利だから | 6. 買い物、医療などの生活環境が整っているから |
| 7. 子育ての環境が整っているから | 8. 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから |
| 9. 街ににぎわいや活気があるから | 10. 街並みや景観がよいから |
| 11. 自然が身近にあるから | 12. 街のイメージがよいから |
| 13. 長年住んでいて愛着があるから | 14. 伊勢崎市が好きだから |
| 15. 特に理由はない | |
| 16. その他 () | |

■地区の住みやすさについておたずねします。

(12) あなたのお住まいの地区は。

〈〇は1つ〉

1. 伊勢崎地区※	2. 赤堀地区	3. 東地区	4. 境地区
-----------	---------	--------	--------

※伊勢崎地区：北地区、南地区、殖蓮地区、茂呂地区、三郷地区、宮郷地区、名和地区、豊受地区

(13) お住まいの地区の住みよさについて、どのように感じていますか。

〈〇は1つ〉

1. 住みよい	2. どちらかといえば住みよい	3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい	5. 住みにくい	

(14) お住まいの地区の住みやすいと思う点、住みにくいと思う点について、1～14からそれぞれ3つまで選んで〇をつけてください。

〈〇は3つまで〉

項目	住みやすい点 (〇は3つまで)	住みにくい点 (〇は3つまで)
1. 車移動の利便性		
2. バスなどの公共交通機関の利便性		
3. 通勤・通学先への距離		
4. 地域での人間関係		
5. 買い物などの利便性		
6. 自然環境		
7. 学校・図書館などの教育施設の充実度		
8. 公園・スポーツ施設の充実度		
9. 子育て環境の充実度		
10. 高齢者・障害者への対応の充実度		
11. 医療体制の充実度		
12. 災害の被害の大きさや頻度		
13. 魅力的な仕事の充実度		
14. 学校教育の充実度		

その他に「住みやすいと思う点」、「住みにくいと思う点」があればご記入ください。

住みやすいと思う点	
住みにくいと思う点	

■現在と将来の伊勢崎市についておたずねします。

(15) あなたは伊勢崎市に愛着を感じていますか。

〈〇は1つ〉

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------|
| 1. 愛着を感じている | 2. やや愛着を感じている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり愛着を感じていない | 5. 愛着を感じていない | |

(16) 現在の伊勢崎市のイメージと、将来の伊勢崎市がどんな市になって欲しいかについて、それぞれ選んで〇をつけてください。

〈あてはまるものすべてに〇〉

項目	現在の伊勢崎市のイメージ	将来の伊勢崎市がどんな市になって欲しいか
【子育て・教育】 未来の担い手が育ち、全ての人が成長し続けられるまち		
【健康・福祉】 誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち		
【産業・観光・文化】 経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち		
【まちづくり】 住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち		
【安心安全】 1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち		
【環境】 あらゆる活動で環境に配慮し、1人ひとりが脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて行動できるまち		
【共生・共創・行財政】 互いに認め合い、共に創る、未来に向かって持続発展できるまち		

(17) コロナ禍から続く物価高騰に対し、国の交付金を活用して伊勢崎市でも様々な支援策を実施してきましたが、今後、市に実施してほしい取組について、1～15から選んで、3つまで選んで〇をつけてください。

〈〇は3つまで〉

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 低所得世帯への現金等の給付 | 2. 全世帯への現金等の給付 |
| 3. 子育て世帯への現金等の給付 | 4. 高齢者世帯への現金等の給付 |
| 5. 学校給食費等の助成 | 6. ISECAプレミアムキャンペーン |
| 7. LPガス料金の助成 | 8. 省エネ家電等への買い替え費用の助成 |
| 9. 病院・介護施設・保育所等・学校などの光熱水費の助成 | |
| 10. 農業者・畜産業者への支援（肥料・飼料代の助成） | |
| 11. 中小企業や商店街への電気料の助成 | 12. 中小企業の省エネ機器等導入費用の助成 |
| 13. 運送業者への燃料価格高騰への支援 | 14. 水道料金の減免 |
| 15. その他（ | ） |

■将来に向けた市の取組について、満足度をおたずねします。

伊勢崎市では、令和7年度から令和11年度の5年間に、次の6つの課題に優先的に取り組みます。

少子高齢化対策

産業の活性化

暮らしの安心の実現

共生社会の実現

DXの推進

SDGsの推進（いせさきGX※の推進）

第3次伊勢崎市総合計画前期アクションプランより

※いせさきGX：「脱炭素に限定せず、一般的な環境問題への対応として、あらゆる主体が進める全ての取組を環境配慮という観点から検討・実行するもの。」

■少子高齢化対策についておたずねします。

（18）次に示す伊勢崎市の取組について、どの程度満足していますか。

取組ごとにあてはまる満足度を1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。

市の取組	満足度				
	満足	どちらかといえは満足	どちらともいえない	どちらかといえは不満	不満
1 結婚・出産・子育てに希望が持てる社会の実現 妊娠・出産・子育ての支援の充実、保育施設・体制の整備など	1	2	3	4	5
2 地域の未来を担う人材育成 伊勢崎市独自の教育プログラムの推進、地域と学校の協働による教育、生徒の夢の実現を図るキャリア教育の充実など	1	2	3	4	5
3 全ての市民が元気に活躍できる環境づくり 健康管理意識の啓発、休日夜間急患センター体制の維持整備、公共交通機関の利用促進など	1	2	3	4	5

(19) 伊勢崎市がもっと住みよいまちになるために、特に力を入れてほしいと思うものを次の中から選んで、
○をつけてください。 〈あてはまるものすべてに○〉

	取組	力を入れてほしいものに○
1 結婚・出産 ・子育てに 希望が 持てる社会 の実現	結婚、出産、子育てまでの切れ目のない支援（相談体制の充実や経済的支援等）	
	子育て環境の整備（保育所等や放課後児童クラブ等）	
	交流の場や情報交換の機会の充実（児童館、児童センター等）	
	その他：具体的に（ ）	
2 地域の未来 を担う 人材育成	幼児教育の充実（公立幼稚園における体験や遊びを通じた学び等）	
	興味関心に応じた児童・生徒 1 人ひとりの主体的な学びの推進	
	地域や関係機関と連携した学校運営	
	四ツ葉学園中等教育学校におけるキャリア教育、グローバル教育等	
	不登校、いじめ、ヤングケアラー等の未然防止、早期発見に向けた支援の充実	
	発達支援や日本語指導等、特別な配慮を要する子どもへの支援の充実	
	学校施設の老朽化や熱中症等対策などの学校施設の整備充実	
	健康教育の充実（生活習慣の乱れ、メンタルヘルス、熱中症予防等）	
	献立の工夫や食育、給食費無償化などの学校給食の充実	
	交通安全、防災、不審者への対策等の安全教育の充実	
	子どもの居場所づくりや地域で子どもを育てる環境づくり	
	その他：具体的に（ ）	
3 全ての市民 が元気に 活躍できる 環境づくり	青少年の健全な心身の育成と環境づくり、社会活動への参加の支援	
	ニートや引きこもりなど、若者やその家族への相談体制の充実・援助	
	多種多様な学習機会の充実（公民館や図書館、まゆドーム等での講座等）	
	公民館や図書館など、生涯学習施設の適正な維持管理の推進	
	市民の健康づくりへの支援（健康づくりの場の提供や情報発信等）	
	疾病の早期発見、早期対応と重症化予防への取組	
	医療提供・救急医療体制の充実	
	伊勢崎市民病院の医療提供体制の整備	
	1 市民 1 スポーツの推進	
	高齢者の生きがいづくりや健康づくりへの支援	
	高齢者福祉サービスの充実（在宅生活の支援や相談窓口の周知等）	
	高齢者が住み慣れた地域で生活するための支援（介護予防や認知症施策の充実等）	
	高齢者等の交通弱者に対する公共交通を利用した移動の支援	
	その他：具体的に（ ）	

■産業の活性化についておたずねします。

(20) 次に示す伊勢崎市の取組について、どの程度満足していますか。

取組ごとにあてはまる満足度を1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。

市の取組	満足度				
	満足	どちらかといえは満足	どちらともいえない	どちらかといえは不満	不満
4 産業の競争力強化 新技術開発や製品開発、DX化への支援、イベントや商談会、ポータルサイト等による販路拡大への支援など	1	2	3	4	5
5 労働環境の向上と雇用確保の支援 ハローワークとの連携、地元雇用の拡大、就職面接会などの開催など	1	2	3	4	5
6 関係人口の創出と地方居住の推進 eスポーツ等を活用した関係人口の拡大、移住定住の促進など	1	2	3	4	5

(21) 伊勢崎市がもっと住みよいまちになるために、特に力を入れてほしいと思うものを次の中から選んで、○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

	取組	力を入れてほしいものに○
4 産業の競争力強化	デジタル技術の活用による新産業の創出と経営力強化	
	企業誘致の促進	
	市内企業の販路拡大のための支援	
	新規就農者の確保	
	農業の効率化及び地産地消の推進による地元農産物の生産拡大	
	遊休農地の解消	
	その他：具体的に ()	
5 労働環境の向上と雇用確保の支援	障害者の地域移行の支援（障害者の雇用や一般就労に向けた支援など）	
	労働者の雇用環境の向上と再教育やスキルアップの支援	
	市内企業の認知度の向上による雇用の確保	
	外国人の就労先での日本語や生活習慣を学ぶ機会の創出	
	男女共同参画の推進（性別による固定的な役割分担意識の解消など）	
	その他：具体的に ()	
6 関係人口の創出と地方居住の推進	世界遺産田島弥平旧宅などの文化財の保存活用	
	eスポーツなどのデジタルコンテンツによる関係人口の拡大と地域経済の活性化	
	魅力ある観光地づくりの推進	
	観光客誘致の促進	
	芸術・文化活動の活性化	
	都市間連携による魅力、活力のあるまちづくり	
	SNS等を活用した効果的な情報発信	
	ふるさと納税制度の推進	
	その他：具体的に ()	

■暮らしの安心の実現についておたずねします。

(22) 次に示す伊勢崎市の取組について、どの程度満足していますか。

取組ごとにあてはまる満足度を1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。

市の取組	満足度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
7 防災力の向上 情報の収集や提供の強化、地域防災力の強化など	1	2	3	4	5
8 都市環境・交通網・インフラの整備 河川や水路等の整備、上下水道施設の整備や耐震化・更新など	1	2	3	4	5
9 防犯体制の強化・交通安全対策の推進 防犯灯や防犯カメラ整備、空き家・空き地の適正管理、高齢者や子どもを対象とした交通安全教室の開催など	1	2	3	4	5

(23) 伊勢崎市がもっと住みよいまちになるために、特に力を入れてほしいと思うものを次の中から選んで、○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

	取組	力を入れてほしいものに○
7 防災力の向上	地域の避難所でもある学校体育館の整備（熱中症等への対策など）	
	市民、企業、関係機関、行政が連携した総合的な危機管理体制の充実	
	地域での防災訓練の実施や要配慮者への支援体制の充実	
	災害時の効果的で迅速な情報発信	
	大規模災害へ備えた消防体制の充実と強化	
	その他：具体的に（ ）	
8 都市環境・交通網・インフラの整備	まとまりのあるまちの形成に向けた計画的な土地利用の推進	
	災害復旧の迅速化や土地の有効活用に向けた計画的な地籍調査の推進	
	災害に強く住みよい環境の整備	
	人や物の安全かつ円滑な移動を支える道路環境の整備	
	地域住民の利便性及び安全性を向上させる生活道路等の整備	
	道路施設の効率的かつ適正な維持管理	
	コミュニティバスの利便性の向上	
	路線バスやコミュニティバスなどの公共交通ネットワークの整備	
	計画的な水道施設の整備と維持管理	
	効率的な下水処理の推進	
	豊かな公園環境の維持・整備	
	その他：具体的に（ ）	
9 防犯体制の強化・交通安全対策の推進	管理不全な空き家の発生予防や適切な維持管理及び活用	
	警察、防犯協会など関係機関と連携した犯罪の防止	
	消費者被害の防止、被害回復や助言のための相談体制の充実	
	警察等と連携した交通安全の啓発、交通安全教室の開催	
	道路の危険箇所の解消	
	その他：具体的に（ ）	

■共生社会の実現についておたずねします。

伊勢崎市では、外国人住民の多さを踏まえ、全国に先駆けた多文化共生の地域づくりに取り組むとともに、男女共同参画の推進や人権の啓発を通じて、多様な人材が分け隔てなく活躍できるまちの実現に取り組んでいます。

(24) 伊勢崎市は「互いに認め合う多文化共生」を推進しています。以下の取組について、どの程度満足していますか。

具体的な取組：外国人向け日本語教室、各種行政サービスの翻訳や通訳、企業等関係機関と連携、多文化交流のイベントや講座の開催など

〈○は1つ〉

- | | | |
|--------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 |

(25) 伊勢崎市は「人権を尊重するまちづくり」を推進しています。以下の取組について、どの程度満足していますか。

具体的な取組：人権法律行政相談、教職員を対象とした人権教育に係る研修、講演会やパネル展などの啓発、相談・支援体制の強化など

〈○は1つ〉

- | | | |
|--------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 |

(26) 次に示す伊勢崎市の取組について、どの程度満足していますか。

取組ごとにあてはまる満足度を1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。

市の取組	満足度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
10 多文化理解の促進とグローバル人材の育成 外国人向け日本語教室、中学生のグローバル体験活動の推進、 小中9年間の一貫指導による英語コミュニケーション能力の育成など	1	2	3	4	5
11 外国人への支援体制の構築 地域の情報やサービスの多言語化の推進、防災・医療分野での連携の強化、 外国人住民が地域づくりに参加できる仕組みづくりなど	1	2	3	4	5
12 多様な人材が活躍できる環境づくり 男女平等教育の推進、基本的人権に関わる講演会等の開催、 インクルーシブ教育の推進、障害者理解のための啓発活動の推進など	1	2	3	4	5

(27) 伊勢崎市がもっと住みよいまちになるために、特に力を入れてほしいと思うものを次の中から選んで、○をつけてください。〈あてはまるものすべてに○〉

	取組	力を入れてほしいものに○
10 多文化理解 の促進と グローバル 人材の育成	児童・生徒への英語コミュニケーション能力の育成	
	四ツ葉学園中等教育学校におけるグローバル人材の育成	
	外国人が生活に必要な言語、文化、習慣を学ぶ機会の充実	
	外国人が就労先で日本語や生活習慣を学ぶ機会の充実	
	外国人が地域に参加できる環境づくり	
	その他：具体的に（ ）	
11 外国人への 支援体制の 構築	翻訳や通訳の充実	
	災害時外国人支援ボランティアの充実	
	外国人住民へのごみなどの生活ルールの周知徹底	
	外国人住民の仕事や働く場所についての情報の充実	
	医療サービスや健康についての情報の充実	
	住居についての情報の充実	
	各種行政手続きについての情報の充実	
	外国人住民が母語（自分の国の言語）を学ぶ機会の充実	
	その他：具体的に（ ）	
12 多様な 人材が活躍 できる 環境づくり	特別な配慮を必要とする子どもへの支援（発達支援や日本語教育等）	
	障害者が地域で生活するための支援（障害者の雇用への支援など）	
	障害の特性や障害者に対する正しい理解の促進	
	人権教育・啓発（人権法律行政相談などの支援等）	
	家庭・職場・学校・地域などあらゆる場における男女共同参画の推進	
	その他：具体的に（ ）	

■DXの推進についておたずねします。

(28) 現在、社会のあらゆる分野でデジタル化が進められていますが、伊勢崎市は行政手続においてデジタルの活用が進んでいると思いますか。
 (〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	
3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう思わない	5. そう思わない

(29) 次に示す伊勢崎市の取組について、どの程度満足していますか。
 取組ごとにあてはまる満足度を1～5の中から1つずつ選んで〇をつけてください。

市の取組	満足度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
15 デジタル基盤の整備 マイナンバーカードの利活用拡大、保育業務支援システムの導入、医療機関におけるデジタル化推進の支援など	1	2	3	4	5
16 デジタル人材の育成・確保 デジタル機器の活用等による学びの充実、eスポーツの推進等による新産業分野の育成支援、DX推進に向けた職員の育成など	1	2	3	4	5
17 誰一人取り残さないための取組 デジタル技術を用いたタクシーの活用、予防接種におけるアプリの活用、運動施設のオンライン予約など	1	2	3	4	5

(30) 伊勢崎市がもっと住みよいまちになるために、特に力を入れてほしいと思うものを次の中から選んで、〇をつけてください。
 (あてはまるものすべてに〇)

	取組	力を入れてほしいものに〇
15 デジタル基盤の整備	市役所へ行かなくてもオンラインで申請や届出、相談ができる環境の整備	
	市役所や市有施設におけるキャッシュレス決済可能な窓口の整備	
	マイナンバーカードを活用した行政サービスの増加	
	オープンデータ等を活用した官民データ利活用の推進	
	電子地域通貨（ISECA）を活用した地域経済の活性化	
	その他：具体的に（ ）	
16 デジタル人材の育成・確保	タブレットなどのデジタル機器を活用した学校教育の充実	
	デジタル技術を活用した新産業分野の育成支援（eスポーツの推進など）	
	労働者へのデジタル技術習得機会の提供	
	学生向けのデジタル技術習得の場の提供	
	その他：具体的に（ ）	
17 誰一人取り残さないための取組	アプリ等を活用した子育て情報の発信や保護者への支援の充実	
	SNS等を活用した、誰でも分かりやすい情報発信の充実	
	デジタル技術を活用した子どもや高齢者等の見守り強化	
	スマートフォンなどのデジタル機器の使い方講座等の充実	
	その他：具体的に（ ）	

■SDGsの推進（いせさきGXの取組）についておたずねします。

伊勢崎市では、SDGsの理念を政策に積極的に取り入れていくこととしており、令和6年5月に国の「SDGs未来都市」に選定されました。SDGs未来都市として、多文化共生の推進を軸に、経済・社会・環境の3つの側面における相乗効果・好循環の実現を目指すこととしています。

このうち、経済面については「産業の活性化」、社会面については「共生社会の実現」でお聞きしたため、ここでは、環境面への取組である「いせさきGX」についておたずねします。

いせさきGX：「脱炭素に限定せず、一般的な環境問題への対応として、あらゆる主体が進める全ての取組を環境配慮という観点から検討・実行するもの。市が進める全ての施策や事業に「環境配慮」を取り入れ、市の取組のどこを取っても環境に配慮されている状態を目指します。

(31) 伊勢崎市が「SDGs未来都市」に選定されたことを知っていましたか。 <〇は1つ>

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(32) 「いせさきGX」について知っていましたか。 <〇は1つ>

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(33) あなたは、次に示す伊勢崎市の取組について、どの程度満足していますか。
取組ごとにあてはまる満足度を1～5の中から1つずつ選んで〇をつけてください。

市の取組	満足度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
18 脱炭素社会の推進 家庭用脱炭素化設備導入補助金、公共施設への太陽光発電システムの設置、 公用自動車の電気自動車の導入、省エネルギー機器の導入推進など	1	2	3	4	5
19 循環型社会の推進 分別収集方法の周知・啓発、リサイクル率の向上、 1人1日当たりのごみ排出量の削減など	1	2	3	4	5
20 自然環境の保全 緑化の推進、街路樹や市有林の管理、地域に身近な里山や河川の保全、 生物多様性・生態系の保全、水環境の保全など	1	2	3	4	5

(34) 伊勢崎市がもっと住みよいまちになるために、特に力を入れてほしいと思うものを次の中から選んで、
〇をつけてください。 <あてはまるものすべてに〇>

	具体的な取組	力を入れてほしいものに〇
18 脱炭素社会 の推進	市民への省エネルギー機器・設備の導入支援	
	事業者への省エネルギー活動の実践や省エネルギー機器・設備の導入支援	
	公共施設での再生可能エネルギーの利用	
	環境問題についての学びの場の提供や情報発信	
	その他：具体的に（ ）	
19 循環型社会 の推進	ごみの減量化	
	分別収集方法の周知などの意識啓発	
	リサイクルの推進	
	その他：具体的に（ ）	
20 自然環境の 保全	市民への緑化（造園・ガーデニング等）支援	
	街路樹や市有林における在来種樹木への植替え	
	里山や河川（ビオトープ等）など自然観察活動場所と機会の創設	
	河川の水質浄化や適正な水循環による水生生物の復元	
	その他：具体的に（ ）	

■自由意見欄

(35) 市に対するご意見・ご要望・ご提案等がございましたら、ご自由にお書きください。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a solid black vertical line along the left edge, creating a margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled document.

■アンケートの実施方法についておたずねします。

(36) I SECAポイントのプレゼントは回答の意欲向上につながりましたか。

〈○は1つ〉

1. はい 2. いいえ

(37) 次のどの方法だったら、回答しようと思いますか。

〈○は1つ〉

1. 回答者全員に一律200ポイント（今回と同様）
2. 200ポイントより多いポイント（1000ポイント等）を回答者の中から抽選でプレゼント
3. その他（ ）

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れてご投函ください（切手は不要です）



令和 7 年 7 月 11 日消印有効

ISECAポイントのプレゼントを希望する場合は、「会員コード確認書」を必ず同封の上
ご投函ください。